

171-0014 東京都豊島区池袋4 - 17 - 10 土屋ビル4F

AA

日本ニュースレター No.97

## 第17回ワールド・サービス・サービスミーティングに参加して テーマ「境界のないメッセージ」

2002年のワールド・サービス・ミーティングは、10月6日から10日まで、スペインのオビエドで開かれました。オビエドはスペインのゼネラル・サービス・オフィスのある所で、9世紀頃からの歴史を誇り、もとはアストゥリアス王国の首都であったという古い都市です。ビスケー湾に近く、人口は20万人ほど、なだらかな緑の山々に囲まれた美しい町でした。ただし交通はちょっと不便で、マドリッドからアストゥリアス空港まで約1時間、それから車で約30分かかります。このホテル・ラ・レコンキスタが会場でした。

この会場に、26カ国を代表する41名の評議員と、他にニューヨークGSO所長、職員、通訳を含めて、7名のスタッフが出席しました。

会議は6日の午後4時から、恒例のレッド・ボール・ミーティングで始まりしました。レッド・ボール・ミーティングというのは、バスケットボールを投げてそれを受け取った人が短いスピーチをするというものですが、ボールを受け取った評議員は、口々にこのWSMに参加できた喜びと感謝を語っていました。この日の日程はこの後の夕食会で終了でした。

翌7日の午前9時から、いよいよ本番のミーティングが開始されました。これ以降10日の午後5時まで4日間、昼食と夕食の時間をはさんで、午前9時から午後9時まで熱い討論や意見発表が続きました。主な議事内容は、4つの委員会(議事、文書・出版、方針・参加承認・財務、外部協力)、4つのワークショップ、4つのプレゼンテーション、25カ国のカントリー・レポートと4つの地域帯報告、2つのニューヨークGSOの報告(国際文書基金、AA文書の著作権とライセンス)とギッチリ議事日程が埋まっており、しかも英語とスペイン語で発表されますので、なかなか追いついていくのが大変です。しかし日本語への同時通訳をして下さったダグさんのおかげで、すべての議論について行くことができました。彼の高い能力にはいくら感謝しても感謝しきれないほどです。

このWSMに参加して、テーマの「境界」とは国境だけではなく、宗教・民族・言葉など、すべての境界がないのがAAのメッセージであると強く感じました。また、ここではその詳しい報告をすることはできませんが、つぎのWSMは2004年10月24日から28日までニューヨークで開かれること、そのテーマは「一つのメッセージ 多くの言語 一つの共同体」に決まったこ

と、各国の評議員の分担金の下限額が引き下げられた(2800ドルから1100ドルへ)ので、次回からはさらに多くの国の参加が見込まれること、ワークショップやプレゼンテーションのトピックとして、少数民族や国際コミュニケーションの問題がとりあげられることになったこと、などを報告しておきたいと思います。また今回の話題としてとりあげられたアルコール以外の問題を併せかかえている仲間の問題や、サービスのローテーションの問題なども引き続きとりあげられます。来年初めには英文の詳しい報告書が出来上がるはずですので、それを楽しみにお待ちください。

各国の評議員はさすがにサービスの経験も長く、自国の状況もよく把握しており、また特にヨーロッパの評議員は自国語のほかに英語にも堪能な人が多く、休憩時間にも熱心に情報の交換をしていました。これからのAAの国際協力を考えると英語の重要性を強く感じました。

なお10日の午後8時から盛大な晩餐会が地元グループの主催で行われ、弦楽四重奏の演奏などもあって盛り上がり、驚いてしまいました。またこの晩餐会の後、ニューヨークGSOの所長から、2006年のWSMを日本で開けないかという提案のあったことをお伝えしておきたいと思います。

最後になりましたが、日本から2名の評議員がWSMに参加できたことは素晴らしいことだと思います。これもひとえに全国の仲間の霊的、物質的な支えと暖かいご助力があってこそのことと思いました。ここで全国のグループ、すべての仲間に深く感謝申し上げ小さな報告を終わります。WSM後期評議員 H.野村

## 「I Am Responsible」... 私の責任

70周年インターナショナルコンベンションは、2005年6月30日から7月3日までカナダのトロントで開催されます。今秋そのテーマ(世界中から297の提案があったそうです)が発表とされました。常任理事会のインターナショナルコンベンション委員会が慎重に検討し、8月の常任理事会で承認されたものです。「I Am Responsible」... 私の責任... が選ばれました。

この大会の登録や宿泊などの詳細は2004年秋に世界一斉に発送されます。また随時Box 459で情報を伝えてくれるそうです。

**G S Oサービス資料 ( N Y G S Oより、02.4.9の草稿)**

02.7 出版局

下記資料はA A W S社のホームページについての資料の最新版です。新しく追加された部分にはアンダーラインを付しました。

**AAホームページについて問い合わせの多い質問**

**1. Q. 地域でAAホームページを開くにはどうしたらよいのでしょうか?**

A. アルコホーリクス・アノニマスの集まりの中で何かを決定するときには、よく情報を伝えられたグループの良心にはかるのがふつうであり、それはホームページを開くかどうかの決定についても当てはまります。地域で開くにせよ、地区やセントラル・オフィスが開くにせよ、AAの経験によれば、まず委員会を作り、ホームページ開設についてあらゆる角度から検討していくことをお勧めします。もちろん伝統についてもあらゆる配慮が必要です。

最初の段階で、地元のAA共同体の良心をどう収集していくかの方法について合意をとりつけ、委員会はその進行状況を、グループ、地区、地域、そしてセントラル・オフィス（もし影響があるようなら）にお知らせしていくことが大切です。委員会でコンセンサスが得られたならば、その所見を全グループ（地区、地域等）に伝え、きちんと情報を伝えられたグループの良心による投票によって決定がなされるようにします。そこで初めてホームページを開く作業が始まります。この技術分野のスピードが非常に早いからと言って、審議にまでスピードを持たす必要はまったくないということを覚えていてください。技術面の問題についてはこの分野のエキスパートに相談に乗ってもらふ必要があるでしょう。

**2. Q. ホームページの責任は誰が負うのですか?**

A. その内容、方針、ホームページを開き維持するにあたっての手続き等を決定する責任は、よく情報を伝えられ、考えに考え抜いたグループの良心が担っていくようお勧めします。“ホームページチェアパーソン”を指名もしくは選出し、その人に、任されたしもべとして、サービスを担う委員会/グループの責任者になってもらったらどうでしょうか。“ホームページチェアパーソン”がひとりでミーティング情報の更新にまで責任をもつとしたら、苦勞が多すぎます。

**3. Q. ホームページのドメイン・ネームはどうやって選ぶのですか?**

A. ドメイン・ネームの選定もグループの良心によって決めるべきでしょう。アルコホーリクス・アノニマスが所有する商標とサービス・マークを守っていくために、個人とAAのグループは、これらのマーク(A. A. , A l c o h o l i c s A n o n y m o u s , T h e B i g B o o k)を自分たちのドメイン・ネームに使用することは避けるようにしてください。経験では、サービス機関の多くでは、他の識別情報と一緒に小文字の「a a」を合わせてドメイン・ネームにしています(例えば [www.aacentraloffice.org](http://www.aacentraloffice.org) とか [www.area999aa.org](http://www.area999aa.org) )。

**4. Q. ホームページにふさわしいAAの情報とは?**

A. ここでも、内容を決定するのはグループの良心だということです。著作権法による制約はホームページ上の資料にも当てはまります。AA出版物を守る著作権と同じです。あなた自身のホームページにAAワールド・サービスの資料を載せたいということであれば、事前にG S Oに許可を求める必要があります。

しかし、AAの地域、地区、セントラル/インターグループ・オフィスによって作られているホームページであれば、AAの出版物(たとえばビッグブック、1 2 & 1 2、AAサービス・マニュアル、評議会承認パンフレットなど)からの語句、文、短い段落を引用することが許されており、文書による事前の申請は不要です。この場合完全なクレジット・ラインの表示がなければならず、これによってAAの出版物の著作権が確実に守られるようにしています。書籍またはパンフレットからの引用のあとには、クレジット・ラインは次のようにするべきです:

AAワールド・サービス社の許可のもとに、(印刷物の名前、ページ)から再録

AAの「序文」は、AAグレープバイン社が著作権を所有しています。ですから、序文の下には、またグレープバインから記事や漫画を再録した場合もその下には、次のような言葉が記載されなければなりません:

グレープバイン(発行年月日)より、AAグレープバイン社の許可により再録

あなた方のホームページに、G S Oないしグレープバインのホームページから現在利用できる項目を含めたい場合は、G S O、グレープバインのホームページの適当な部分にリンクしたらいかがでしょうか。

もう一度言います。AAの地域、地区、インターグループ/セントラル・オフィスで作られたホームページは別になりますが、それ以外のホームページにAAの資料を含めたいと考えている場合、G S Oからの許可を求める申請をおこなう必要があります。

**5. Q. ホームページの料金は誰が払うのですか?**

A. 伝統7にのっとり、AAは自分達の経費は自分達でまかないません。コンピューターの世界でも同様です。無料ホストのホームページがインターネットで利用できますが、それを使うには、強制の広告スペースとか商業サイトへのリンクを入れるよう要求される場合がほとんどです。混乱を避け、うかつな連携や商品の売り込みに対してガードを固めるために、ホームページのホストの選定には注意を払うべきでしょう。

**6. Q. ほかのホームページへのリンクについては?**

A. 他のAAホームページへリンクすれば、あなたのホームページだけよりも幅広い範囲がカバーされ、その効果は大体いつもプラスに働いてでしょう。あなたのホームページを開いた人がすぐさま別のホームページに書かれた内容まで読むことができるのですから。けれども、AAグループは自律的(自主的)であり、グループにはそのグループ独自の良心があります。あなたのホームページがリンクした相手先のホームページが、あなたのグループの良心では賛成できかねる内容を掲載する場合もありえます。また、こういう内容の掲載がいつ始まるかわかむことができませんし、それを事前に食い止

める方法もありません。AA外部のホームページへのリンクは、もっと問題を含むものです。当然AA以外のものがディスプレイされるでしょうし、物議をかもしものであるかもしれません。そればかりか、そこにリンクすることで、内容いかんに関わらず、提携関係とは思われなくても、そこがAAのお勧めであるかのような印象がもたれることになります。結局経験により強く提案されているのは、ほかのホームページへのリンクを検討する場合には、くれぐれも用心に用心を重ねるようにということです。

GSOでは、リンクを既知のAAサービス機関に限定することで、またGSOホームページからの出口に強制性を組み入れることで、このような落とし穴にはまらないよう努めてきました。ホームページの強制的な出口は、誰かがGSOのホームページに含まれているリンクのどれかを作動させたいと思う場合でも適用されます。さらに、その効果に対する良く目立つ注意書も載せています。

#### Q. アノニミティについては?

A. ホームページに関しても、わたしたちはAAのあらゆる原理と伝統を遵守しています。“アノニミティ(無名であること)はわれわれの伝統全体の霊的基礎である”ため、AAのホームページにおいてもつねに無名であることをつらぬいています。AAホームページは広報媒体であり、ほかの方法では考えられないほど多数の人達に届く可能性があり、だからこそ、新聞、ラジオ、映画の分野と同じ防衛手段が必要になります。

#### 7. Q. GSOは各地のホームページの「情報センター」の役割もしてくれるのでしょうか?

A. アルコホーリクス・アノニマスには中枢の権威機関はなく、したがって、AAのGSOは各地のホームページの情報センターでもありません。伝統、内容、リンク等に関する問題点については、地域のグループの良心によって判断し決定できます。GSOではあらゆる問題についてこれにはホームページも含まれますが、GSOに集められた経験を、いつでも分かち合うことができます。しかし今の時点では、ホームページ設置にあたっての独特な事態にまつわる各地のホームページ委員会の経験は、まだGSOにはわずかしが寄せられていません。

#### 8. Q. GSOのAAホームページ(www.aa.org)では何が見られるのですか?

A. 12の伝統を守ったうえで、インターネットを公開の電子媒体のかたちと考えれば、GSOのAAホームページは立派な広報活動の道具だといえます。このホームページは、共同のメンバーにより直接的に向けた資料を、幅広く掲載してきました。一般の人達、マスコミ、専門家には、アルコホーリクス・アノニマスについての正確で首尾一貫した情報を、英語、フランス語、スペイン語で提供しております。

#### 9. Q. GSOのAAホームページへのアクセス数は?

A. 2001年のアクセス数は1,437,590件で、現在の一日平均アクセス数は約4,000件です。

#### 10. Q. これはひきつける魅力というより、むしろ宣伝なのでは?

A. AAの共同創始者であるビルWはこう書いています。「広報の形態はさまざまだ。“今晚AAミーティングをやっています”というミーティング場の看板。AA出版物の配布。

洗練されたマスコミ技術を駆使したラジオやテレビでのショー。かたちはどうであれ、また個人によるものであれ、第三者やマスコミを通じたものであれ、結局“一人の酔っぱらいがもう一人の酔っぱらいにメッセージを運ぶ”ということに尽きるのだ」

あなたの住む地域の大小にかかわらず、また、都会か地方かにかかわらず、そこに住む人達のニーズと経験が、あなたのすべきことを決めていくのでしょうか。もしまだ分からないところがあれば、遠慮なく下記のオフィスへ連絡ください。

GeneralServiceOffice  
P.O.Box459  
GrandCentral Station  
New York,NY10163(212)870-3400  
www.aa.org

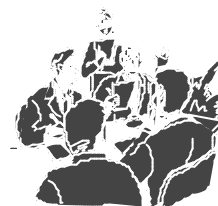


#### AAOSM報告書より「国際間のスポンサーシップ」

ジョン・S(オーストラリア)より一部抜粋

#### 仕事は山ほどある

この広大なアジア・オセアニア地域には、AAのメッセージを待っている3億人のアルコホーリクがいると推定されます。ここは地球上の他の如何なる地域よりも、多くの言語、多くの民族、多くの文化を擁する地域です。



国と国とのスポンサーシップは他の地域帯ではうまく行っていますが(例えばキューバとか、ロシア、カメルーンなどの)、とりわけ、AAの誕生に関心を有している当局者に対し、旅行中のAAメンバーが個人的にメッセージを運んだところでは良い結果が出ています。AAOSMに個人的に参加している小さな国のメンバーを援助する私たちの側の努力によっているのですが、次のステップは、その国にいる数人のメンバーの出席を実現させることでしよう。

実際に私たちができることは、その時その時最善を尽くすことであり、私たちが蒔いたスポンサーシップの「種」が地面に根付いていくことを願うことです。まだ時期が早いのであれば、AAOSMは、将来、種まきをする人たちがもっと現れて、もっと多くの「種を蒔いてくれる人たち」を増やしていくように取り計らってくれるでしょう。

#### 通訳募集

来年2月に開催される第8回全国評議会に韓国からオブザーバーの参加が予定されています。

日本の全体サービス機構を見ていただくように呼びかけるところ、早速お返事をいただきました。

そこでメンバーの皆さまにお願いを申し上げます。

ハングルの通訳を募集いたします。

全国評議会は2月9,10,11日東京深川のホテルB&Gで開催されます。

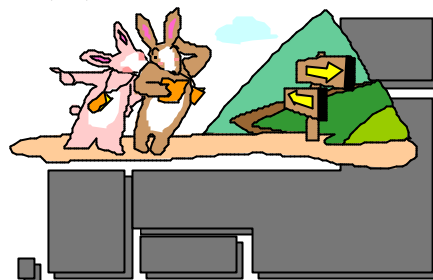
詳しいことはJSOまでご連絡ください。お待ちいたしております。

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 第3回 全国サービスフォーラムを終えて ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

去る平成14年11月3日、4日と2日間にわたり「第3回全国サービスフォーラム」が福島県郡山市で開催されました。

始めに参加して頂いた仲間とプログラム運営に協力して頂いた仲間へ実行委員会より御礼申し上げます。

振り返りますと今回開催された「第3回全国サービスフォーラム」は東北地域内で開催される初めての全国規模での行事でありました。この話を聞いた時北ではまだまだ時期早々ではないか?と疑問にも思ったのが正直な何故時期早々であると思ったかという、東北地域は現在北は青森から南は福島県までの6県からなる大変広範囲な地域ですがまだまだ全国的にみるとグループ数も少なく全国的な行事を運営実行するには力不足ではないかと考えたからです。



しかし、その不安に正対して「だからこそ良い経験にもなるのでは?」と思ったのも事実です。無責任な言い方かもしれませんが「東北は東北なりの開催の方法があるのではないだろうか?」「だとすれば東北でサービスについて考える良いきっかけになる」と個人的に考えたからです。

後と一緒に運営に携わってくれた東北地域の仲間へ聞いたところ多かれ少なかれ誰もが同じ様な不安と期待を持っていたことを分かち合い笑い話になりましたがあの時点では不安だらけのスタートであったと思います。

さて開催までの準備も色々ありました。先に述べたとおり東北地域は大変広い地域であるがゆえに情報伝達と議事決定に時間がかかります。しかしながら開催準備のスケジュール等を考慮し、やむなく郵送投票での開催決議となりました。そんな形での決議でしたので実行委員会立ち上げ式に臨んでも不安でいっぱいスタートとなりました。(立ち上げ式の時はお忙しい中、担当理事にも参加して頂き本当に勇気づけられました。あの時は本当にありがとうございました)

それから1年をかけて準備期間となりました。特に実行委員会を運営していくのに心がけたことは随時実行委員会のメンバーを募集していくことでした。一人でも多くの仲間へ実行委員会への参加を呼びかけ東北地域でのサービスフォーラムに理解をお願いしていきたいと考えたからです。また、広い地域であることを考慮し最初のころの実行委員会を色々な地区で開催しました。今になってみれば同じ地域でありながらめったに会う事がない他県の仲間と分かち合えたことは自分にとって大きな喜びであったと思います。そのようにして実行委員会の開催くりかえしましたが当初からの不安でもあったマンパワー不足はどうしても避けられない現実となりました。そこで思い切って他地域の助けを借りる事となったのです。第1回目の中部北陸地域、第2回目の北海道地域ではそんな事はなかったと思います。それなのに東北地域ではと思うと恥ずかしくもありましたが東北地域の現状を全国の仲間へ知ってもらうのも良い事なのでは考えました。(改めて協力して頂いた他地域の方々に御礼申し上げます)

次にプログラムについても実行委員会の中で議論となりました。今回のサービスフォーラムのコンセプトの一つに「参加者一人でも多くの声が聞きたい!!」を挙げてましたのでその為のプログラム内容に苦労しました。苦慮の末、分科会ごとのディスカッション方式を選択しました。それらの資料作成のためアンケートを全国にお願いしたところ予想以上の協力があり大変うれしかった事を思い出します。

これらの思考錯誤をくりかえしながらあつという間に準備期間は過ぎ参加者の募集、本番の「第3回全国サービスフォーラム」の開催となりました。

結果して予想をはるかに上回る多数の仲間へ参加して頂き無事終了することが出来ました。本当にありがとうございました!!(内容は後日報告書に代えさせていただきます)

本当に色々大変な1年であったことは事実ですが終わると本当にあつという間だったなと改めて考えさせられます。今振り返ると楽しいことばかりだったような気がします。(人一倍楽観主義の自分だけかもしれないが?)なぜなら多くの仲間と共通した目的を持ち共に過ごしてきたことはAAのプログラムも似ていると感じるからです。

何らかのイベントが終了する度に個人的に思うことがあります。「今回の終わりは新しい事への第一歩である」と。次回のために今回の経験を生かしていければと思います。いつまでもフレッシュなアルコールックを目指して!!

本当にありがとうございました・・・!!

第3回全国サービスフォーラム 実行委員会 事務局 かめ

### — お詫びと訂正 —

11月より頒布いたしておりますカレンダー手帳の訂正をお願い申し上げます。

最終ページ、全国AAセントラルオフィス一覧の中で九州・沖縄セントラルオフィスの業務案内に誤りがございました。以下のようにご訂正いただきますようお願い申し上げます。

(月～金) 10:00～18:00 (土) 10:00～16:00 (日・祭) 休

(月～土・祝) 10:00～18:00 (日) 休

以上訂正してお詫び申し上げます。J S O

## AA日本ニューズレターNo. 97

編集・発行：AA日本ゼネラルサービスオフィス(J S O) 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4 F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ：<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>